もえぎのクローバーこどもの国評価表

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	4	1	・事業所の広さと子どもの人数が適切でなく、圧倒的に狭い。事故が起きないようにする為スタッフが目を配っていくことしかできていない。 ・外に行くなど工夫はしているが雨で出れないとどうにもならない。 ・中高生、高学年が多い日は、多少なりとも手狭に感じる。 ・フロアを分割する等し、児童の活動内容に応じてすみわけできるよう配慮している。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	5	1	・努力していると思う。（人材が足りません） ・少なすぎて適切な支援は難しい。なるべく全ての子どもに声をかけるというスタッフ側の努力に頼らざるを得ない状況にある。 ・適切な数とは思いますが、感覚として、増員お願いしたいです。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	3		・努力していますが、やや足元不安定なところあり。 ・フロア床は玄関からフラットになっているが、手すりを要する箇所がある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	11	1		・MTGにて、意見交換している。 ・MTGにて全体で目標設定や達成度合いを共有するほか、連絡ノートで共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	2		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	1	2	・回答を書面で返信しているので、それを含むなら「はい」。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	7	3	・分かりません。 ・行っているのか説明を受けておらず把握していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	2		・社内外への参加MTGでの全スタッフ参加の研修を行っている。
適切な支援の提	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	1		・アセスメントシートを更新している他、面談で支援計画を設定。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	2		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	1		・MTGや業務の中でスタッフから挙がる内容を考慮している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	1		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	3		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	1		

提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	3	1	・シフトで入り時間が違うため、打ち合わせは難しい。→連絡ノート活用。・外出時やイベント時はスタッフ間で確認をしている（平時は除く）・打ち合わせの時間を確保できない際は連絡ノートやメモにて行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	1	1	・パート含めて打ち合わせは難しい。常勤のみ。 ・支援終了後に限らず気づいた点等は都度共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をつることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	1		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	11	1		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	11	1		
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	1		
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	5	・公園などで、交流の機会あり。 ・していない。コロナ以降機会がない。
	㉔	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	10	2		・分かりません。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12			・送迎時の申し送りや連絡帳等で毎日情報共有を行っている。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	5		・助言等、日々の連絡の中で、スタッフ間で共有はできているが、具体的にトレーニングまでの支援には行きついていないのではないか。・話や困っていることを聞き、助言するにとどまっているように思われる。・トレーニングを行っているかわからないが、保護者面談等で児発管が相談等を受けている。
保護者への説明責任	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	1		
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	2		
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			
	㉚	個人情報に十分注意しているか	11	1		

等	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	12			
	㉜	事務所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		10	・していない。コロナにより招待は行っていない。 ・コロナ以降機会がない。
非常時等の対応	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11	1		・保護者に周知しているか確認不足。
	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12			
	㉟	虐待を防止するため、職員の研修会議を確保する等、適切な対応をしているか	12			
	㊱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12			
	㊲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指定書に基づく対応がされているか	10	2		・ケースによる。キッチンに注意メモがあり、事故を防ぐ努力をしている。
	㊳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12			・「連絡ノート」にて周知共有も行っている。MTGでも周知している。